

令和6年度職員採用試験（大学卒業程度）  
衛生（衛生一般） 専門記述試験（6. 6. 16）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○ 獣畜の肉を食べることによる食中毒の予防対策について

食用となる家畜（牛、馬、豚、めん羊、山羊）や家禽（鶏等）は、農場において飼養管理し、と畜場もしくは食鳥処理場において全頭（全羽）の検査を行った上でと殺し、解体後の検査を経て、食品衛生法上の食肉処理業の許可施設で処理されて流通しています。

一方で、イノシシや鹿のような野生の獣畜は、飼養管理されておらず、また、と畜検査も義務付けられていませんが、食品衛生法上の食肉処理業の許可施設で処理され流通しています。

○ 農場・捕獲から消費までの主な流れ

【家畜・鶏】

農場 → と畜場・食鳥処理場 → 食肉処理業 → 飲食店・食肉販売店 → 消費者

【野生獣畜】

捕獲 → 食肉処理業 → 飲食店・食肉販売店 → 消費者

このような状況の中で、食肉に起因する食中毒の発生を防止するためにそれぞれの段階で必要な対策を次の用語を全て用いて述べなさい。

用語：牛、豚、鶏、イノシシ、鹿、腸管出血性大腸菌、サルモネラ属菌、E型肝炎、カンピロバクター、加熱調理、中心温度、生食

また、食肉に起因する食中毒の原因となる微生物の特徴、その潜伏期間、主な症状及び予防方法を併せて述べなさい。

## ＝ 課 題 2 ＝

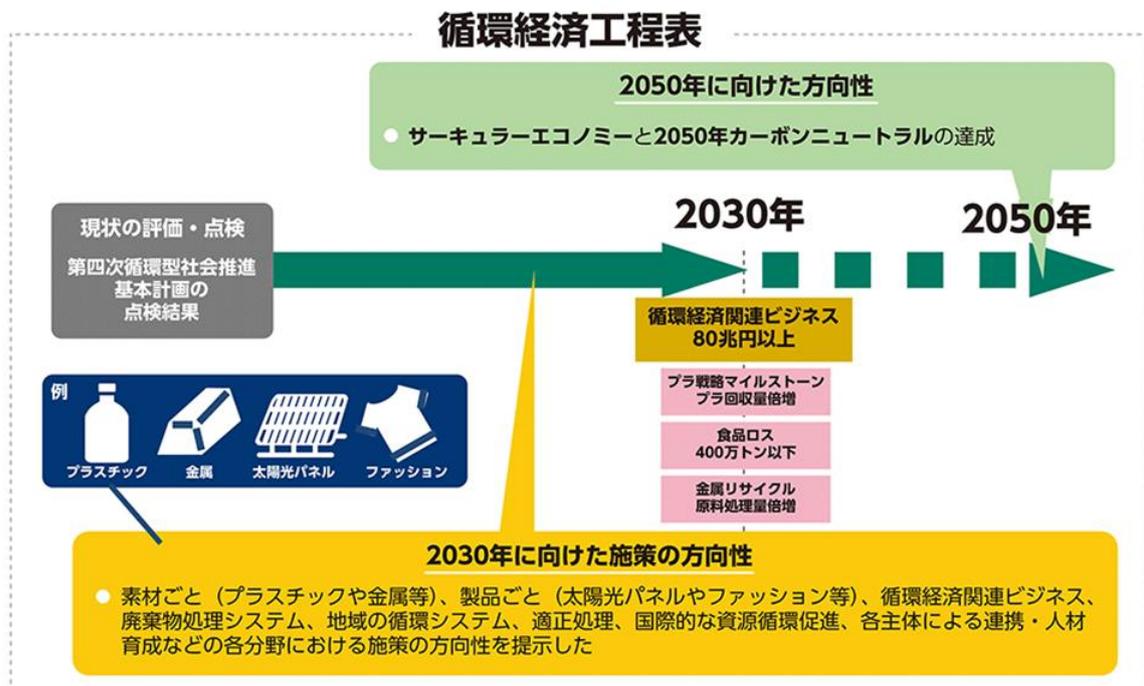
### ○循環経済（サーキュラーエコノミー）の取組の推進について

「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の取組は、G7 でも、気候変動対策、生物多様性の保全と並んで、行動を強化すべき分野として位置づけられるなど、国際社会共通の課題となっています。

環境省が2022年9月に公表した「循環経済工程表」では、2050年を見据えた目指すべき循環経済の方向性と、素材や製品など分野ごとの2030年に向けた施策の方向性を示しており、これに基づき、ライフサイクル全体での資源循環に基づく脱炭素化の取組を、官民が一体となって推進していくこととしています。

こうした状況を踏まえ、循環経済を促進するため、広島県として、どのような取組が必要か、次の図を参考に、あなたの考えを具体的に述べなさい。

図 循環経済工程表



（出典：環境省 HP）